

φ 15mmの細径・軽量、運搬の軽減を実現！

小型挿入式孔内傾斜計

変形を伴うガイド管に挿入可能な細径傾斜計

地すべり調査において、地すべりの変位速度が速い場合や維持管理を目的とした超長期の観測の場合、ガイド管の変形(曲がりや潰れ)に伴い、従来の計測器では挿入が不可能となり観測できなくなるケースが少なくありません。この場合、すべり面の深度や変形状況を連続的に正確に把握することは難しく、計器の挿入限界を拡大し、より長期の観測への対応が求められています。

そこで、細径で軽量の新型孔内傾斜計を開発しました。変形したガイド管に挿入が可能で、超長期的な観測に対応、ガイド管再設置のコスト低減、作業負担の軽減が見込めます。

特長

- サイズがφ15×487mmと非常に小さく、ガイド管の潰れによる狭い開口面積や大きな曲がりに対応します。
- ケーブル(50m)、測定器込みの総重量が4.1kg(従来機器の1/3)と非常に軽量。運搬および作業負担を軽減いたします。
- スマートフォンから簡単に操作が可能です。

システム構成例

軽量

4.1kg

測定器+ケーブル
(50m)込み

孔内傾斜計

サイズ：φ15×487mm
コ口間距離：250mm



測定器

モバイルバッテリー
で駆動！

Bluetooth®

スマートフォ
ンから
簡単操作



スマートフォン
ワイヤレスで
通信可能！

項目	仕様
測定範囲	±1800min(30deg)
変換方式	差動トランス
直径	φ15mm(突起部を除く)
質量(計測器一式)	4.1kg

共同研究開発製品

国立研究開発法人 土木研究所との共同研究「長期観測を可能にする地中変位観測技術の開発」 参画製品

営業部

TEL: 042-464-3711 FAX: 042-464-3773

www.sakatadenki.co.jp

eigyous@sakatadenki.co.jp

WEBサイトを
ご覧ください。

